



「病弱児の学び舎として

つなぐ歩みを胸に刻んで」

会津支援学校竹田校

教頭 江見 浩二



平素から竹田校の教育活動に深い御理解と御協力を賜っておりますことを、教職員一同を代表し厚く御礼を申し上げます。

竹田校の書棚に『川のフィルム』、『ひとすじ道』と題した二冊の記念誌があります。いずれも会津若松市社会福祉を進める会（前「ベトスクールを育てる会」）が自主刊行したものです。竹田校は、昭和五十三年、竹田総合病院敷地内の一面に、福島県立会津養護学校竹田分校として開設され、今年で四十六年の歴史を刻んできました。実際には、一二年前の昭和四十一年に会津若松市の婦人団体の方々が進めた病弱児学校開設運動が実り、会津若松市立謹教小学校竹田分室として歩みだしましたのが始まりです。記念誌では、学校開設時にお一人で教壇に立たれた大堀重男先生の優しい笑顔、児童がパジャマ姿で元気にハーモニカを吹き歌を歌う様子、教室に運ばれたベットのうえで同級生と熱心に学ぶ様子、様々な行事で看護師さんと一緒に笑顔で楽しむ様子など、病院の中の教室で生き生きと学ぶ児童たちが写真の中で息づいています。自

分の病気や治療のこと、お世話になった医師や看護師、出会った友だちや行事の思い出を詩や作文でつづり感謝を伝える児童の作品を見ると自然と胸が熱くなります。県内で一番初めに始まり、今は一番小さなベトスクール「竹田校」の歩みは、社会福祉を進める会五十嵐月代会長様をはじめとする多くの会員、地域の方々、「光と希望」を合言葉に教壇に立たれた先生方と学び続けたたくさんの病弱児の思いの中で、脈々と今につながっている貴重な財産です。

今年度在籍している二名の中学生も先輩たちと同じく、医療的ケアや治療を受けながら、常に学校生活を楽しみ、お互いを励ましあい、将来に夢をえがき前を見続けながら、熱心に学んできました。その姿に教職員である私たちも笑顔と感動をもらってきました。

学校開設以降の半世紀の中で、大きく社会構造や文化、教育の在り方も変容してきました。ICTを駆使し学習の成果を発表した竹田フエスティバルも、病院の方々、地域のIT企業の協力を受けて生徒の伸び伸びとした発表で終了しました。オンラインでの授業も軌道に乗り、生徒は入院しても授業を受けて頑張っています。病弱児の学び舎として変わってはいけない学校、それが竹田校です。私たちもこの歴史と思いを胸に刻み、児童生徒が輝く学校をめざしてまいります。今後とも皆様

の温かな御支援をお願いいたします。



オンライン授業の様子(1年美術)



授業の様子(3年社会)



竹田フェスティバルでのICT体験

活動紹介

中学部修学旅行 (東京)

(九月二十六～二十七日)

東京への修学旅行

中学部三年 齋藤 光

ぼくは、九月二十六日から二十七日の一泊二日で東京へ修学旅行に行ってきました。三年生になってから、ずっとこの修学旅行を楽しみにしていました。

一日目は、豊洲にあるチームラボプラネッツに行き、裸足で水の中を歩いたり、光の中を歩いたりしました。いろいろな色に変わる光がきれいでした。見終わったとき両足がつつつしまい、とても痛かったです。二日目は浅草寺に行きました。雷門を見るのが楽しみでした。地下鉄を降りて雷門が見えたとき、思っていたよりも大きくておどろきました。おみくじは、凶でした。『半吉』が出ることを楽しみにしていたので残念でした。ぼくは、修学旅行でおいしいものを食べることも楽しみました。昼食のバイキング、夕食のちゃんこ、全部おいしかったです。中でも帰りに上野駅で自分で買って新幹線で食べた駅弁は最高でした。もつと他のところも見てみたいのもう一回は行きたいです。





# 竹田フェスティバル

(十一月二日)



「笑顔はじけた竹田フェスティバル」

十一月二日に、「竹田フェスティバル」を行いました。今年度は『Let's Try! Let's Enjoy!』はじける笑顔!『Popcorn!』というテーマのもと、生徒達は「参加者全員にとって楽しい一日となるように」という思いで、当日まで準備や練習に励んできました。

今年度のコンセプトは「映画館」。オープニングアクトでは、人気のアニメ作品をオマージュして、剣道のパフォーマンスを披露しました。迫力のある面打ちは、非常に見応えがありました。

各学級の発表では、中学部1年生は「科学」、3年生は「災害」をテーマに発表しました。災害クイズや科学実験ショーで会場を盛り上げつつ、自分が学習したことや考えたことを堂々と発表する姿は大変素晴らしいです竹田校は少人数の学校ですが、人数が少ないということなどにもかかわらず、「竹田フェスティバル」は盛大に開催されました。

その他にも、生徒達が考え、竹田校全員で創り上げた楽しい企画や発表が盛りだくさんで、とても充実した一日でした。テーマのとおり、笑顔が弾ける素敵なフェスティバルとなりました。



<中学部1年の発表>



<中学部3年の発表>



<オープニングアクト>



<オープニング>

## アクアマリン出前講座



水と共生出前講座

## 避難訓練



## SDGsの取り組み〜ペットボトルキャップ回収活動〜



## ALT 訪問授業



## 活動の様子

## 休み時間

## ワークショップ(美術)



## 感染症等予防講話



## 栄養講話

## VRを利用した学習(理科)



## 剣道(保健体育)



## 芸術鑑賞教室

(伝統芸能・和太鼓の鑑賞と)

ワークショップ)

## ホームページ



note  
(ノート)

こちらも続々更新中



## 本校ホームページのお知らせ

※随時更新中で、多くの方に閲覧いただいております。



ICT機器貸出はじめました  
(学習のための)  
○リモートで授業に参加する時、画面の向きを自由に換えたいと思うことはありませんか?  
Kubi(クビー)という機械を使うと、離れた場所から自分で操作して見たい箇所を映すことができます。  
※借用希望の方、詳しく知りたい方はご連絡ください。(電話番号右記)



タブレットを接続したkubiです。上下・左右、まるで首を動かすかのように接続部を動かして、見たい箇所を映すことができます。

【電話】0242-28-0640  
【相談窓口】教頭、コーディネーター  
【受付時間】月～金 九時～十六時  
※「教育相談をお願いしたい」とお伝えください。相談内容や希望日時を伺います。

地域支援センター『あいづっこ』では随時、教育相談を受け付けております。「入院によって学習の遅れが気になる」、「病弱の子どもの支援や配慮はどうすればよいのか」など、疑問や悩みに関する相談をお受けします。  
※オンラインでの相談も可能です。  
どうぞお気軽に、お電話ください。

